＜トラブル対応フローチャート＞

トラブル発生

発表者からの申し出「計時を止めてください」
※こちらからは発表を止めない

発表者からの申し出なし
※発表継続→発表終了→協議（協議終了後、質疑）

計時B，C中断

計時A継続

計時B，C継続

当番校運営担当者が、発表者から原因確認

原因が発表者にあった場合
（体調不良など）

原因が当番校にあった場合
（マイクトラブル・停電・ベルの間違い・雑音・騒音）

棄権

分野審査員へ報告
【発表棄権】

分野審査員へ報告
分野審査員が再開を決定
道連事務局・当該発表者・当該発表者引率顧問・当番校管理職へ報告

分野審査員へ報告
分野審査員が再開・やり直しを決定
道連事務局・当該発表者・当該発表者引率顧問・当番校管理職へ報告

再開

再開・やり直し

発表再開
・計時Aを発表時間とする
・発表時間が8分を超えた場合は打ち切り

発表再開
・計時B、Cの中断時間から発表を再開
・発表時間が8分を超えた場合は打ち切り

発表やり直し
・発表やり直しの場合、発表順は審査員にて決定

発表終了
分野審査員判断

・当番校側のトラブルが大きく影響し、発表者の不利益と判断した場合
→発表のやり直し（発表順位は分野審査員が決定）

・特に問題がなかった場合
→そのまま進行（質疑に入る）

質疑

・棄権の場合は行わない

・発表打ち切りの場合は質疑を行う